

## 登壇者のご紹介



早稲田大学 大学院 情報生産システム研究科 教授 大貝 晴俊

1974年 早稲田大学工学部電気工学科卒業

1976年 東京工業大学大学院理工学研究科制御工学専攻修了

1976年 新日本製鐵(株)入社、設備技術センター、設備技術本部、エレクトロニクス研究所 プロセス技術研究所、環境プロセス研究開発センター(主幹研究員)にて、圧延制御等の研究開発に従事

2003年 早稲田大学 大学院情報生産システム研究科 教授

現在に至る

研究分野：鉄鋼プロセス・ごみ処理プロセスの制御、自動車のエンジン制御、走行制御センサーネットワークを用いた橋梁診断、下水管検査ロボットなど

表彰：塑性加工学会 会田技術賞、計測自動制御学会技術賞・論文賞、鉄鋼協会 計測制御システム部門研究賞など



金沢工業大学 工学部 ロボティクス学科 准教授 河合 宏之

1999年 金沢大学工学部電気・情報工学科卒業

2001年 金沢大学大学院博士前期課程修了

2004年 金沢大学大学院博士後期課程修了

同 年 法政大学情報技術(IT)研究センターポスドクター研究員

2005年 金沢工業大学講師. 2010年金沢工業大学准教授

視覚フィードバック制御とその応用に関する研究に従事。

博士(工学)。IEEE、計測自動制御学会、システム制御情報学会の会員



日産自動車(株)人事部 日産ラーニングセンター  
エンジニアリングスクール 主査 小澤 一義

日産ラーニングセンターはお客様の教育ニーズに密着し、モノづくりを実践・推進しうる実践的先進技術・技能を持った人材を育成します。教育実施のキーワードは「わかる」「できる」「うごける」です。「わかる」では理論・知識・手法が理解できる事を目標にしています。「できる」では学んだ事を自分で実践できる事を目標にしています。そして「うごける」では職場(チーム)で結果を出せることを目標にしています。具体的には現場の問題解決に必要な技術レベルをモジュール化し、入門から中級までの講座を選択出来る様にしています。また、実際に職場で使用している設備や機材を一人に一つ用意し、単なる知識教育だけでなく、身に付けるまでフォローを行います。そして、技術の進歩と環境の変化に迅速に対応して常に最新の教材とテキストで学ぶ事が出来ます。

<http://www.nissan-nhd.co.jp/>



日本ナショナルインスツルメンツ株式会社



事業開発部・ビジネスデベロップメントマネージャ ダシルバ アレックス

(本社:東京都港区、代表取締役:池田亮太)

1976年の創業以来、LabVIEWなどの迅速なテスト開発ソフトウェア、モジュール式計測・制御ハードウェア、また、これらを支える同期プラットフォームを提供しているナショナルインスツルメンツ ([www.ni.com](http://www.ni.com)) の日本法人。ナショナルインスツルメンツの提供するソフトウェア、ハードウェア、プラットフォームの3つの要素は、柔軟性・拡張性に富んだテストソリューションの構築を可能とするもので、技術革新によるテストニーズの変化にエンジニアや科学者がすばやく対応する上で欠かせないあらゆるテストに必須の計測・制御テクノロジーです。ナショナルインスツルメンツは米国テキサス州オースティンに本社を持ち、従業員は5,000名以上、セールスオフィスは40ヶ国以上にあります。米国においては、Fortune誌に掲載されるThe 100 Best Companies to Work For (アメリカで最も働きがいのある会社) に過去10年間連続して選ばれています。